

様式第3（第8関係）

指定管理者評価判定結果報告書

令和2年7月10日

高 浜 市 長 殿

高浜市やきものの里かわら美術館
指定管理者選定評価委員会
委 員 長 森 克 徳

令和元年度の指定管理者の評価の判定結果について、高浜市指定管理者の評価に関する指針第8の規定により報告します。

1. 施設の名称	高浜市やきものの里かわら美術館			
2. 指定管理者の名称	乃村工藝社・NTTファシリティーズ美術館運営共同事業体			
3. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日			
4. 協定書・事業計画書等に基づく管理の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・かわら美術館の利用及びその制限に関する業務 ・かわら美術館の管理運営に関する業務 ・かわら美術館の利用に関する料金徴収に関する業務 上記に掲げるもののほか、市長が必要と認めた業務			
5. 大分類項目の評価				
項目	満点	評点	満点に対する割合	判定結果
① 総則に関する事項	150点	140点	93.3%	A
② 施設設備の維持管理に関する事項	90点	90点	100.0%	A
③ 運営及びサービスの質の向上に関する事項	450点	382点	84.9%	A
6. 総合評価				
項目	満点	評点	満点に対する割合	判定結果
総合評価	690点	612点	88.7%	A
7. 評価結果についての講評				
(総評) <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算、職員体制の中で、適正に管理、運営され、効率的に美術館事業を展開していただいている。 ・地元との関わりが深くなってきて、美術館への市民の親密度が以前に比べ深くなってきている。 				

- かわら美術館が文化の拠点として情報発信し、その核としての存在を一層担ってほしい。
- 3月は新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数が減少したものの、その影響がなければ陶芸教室利用者数や施設利用者数は前年度を上回っていたと思われるため、それらに関する取組は評価できる。
- 指定管理者2期目の最後の1年にご尽力いただきたい。

（展覧会について）

- 展示物への説明等、子どもでも一般の大人でも楽しめる解説などがされていないことが残念である。「みんなで美術館」のとおり誰もが楽しめることを目指してほしい。
- 展覧会のタイトルがわかりやすいと集客につながるのではと思う。「カラクリ展」は子どもと一緒に見たいと思うし、「森克徳展」は年配の人が喜びそうだと思うが、「過去と未来を紡ぐもの」は内容がわかりにくいと思う。
- かわら美術館は、高浜市生涯学習基本計画において、まなびの一つの資源としてとらえられていると思われる。その視点からみると、展覧会の解説など「子ども」にもわかりやすい表記が望まれる。

（関連事業等について）

- 企画、事業も創意工夫があり、楽しい場となりつつある。
- 市民の方がたくさん参加できる企画が多くなったことは、評価が高い。

（瓦業界等との連携について）

- 瓦業界（主に三州瓦工業協同組合）との連携により、地元における情報発信は積極的に行われている。
- 施設のあり方の検討がされている中、まなびの「機会」と「場」の提供にあたり、さらに一層関係機関との連携、協力が望まれる。
- 今後さらに産業界との結びつきを強化して頂けると良い。

（その他）

- 学校向けの美術館活用に力を入れはじめたことは、評価できる。
- チラシ等に月、火曜日の休館日をもっと分かりやすく明記してほしい。
- 次回以降の評価委員会において、令和2年度の利用実績を評価する際には、評価基準が前年度との比較だけでは評価できないと思う。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した評価基準を設定する。